

Title	藤田弘夫 略歴・ 著作目録
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学大学院社会学研究科
Publication year	2010
Jtitle	慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要：社会学心理学教育学： 人間と社会の探究 (Studies in sociology, psychology and education : inquiries into humans and societies). No.69 (2010.) ,p.159- 181
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	2009年度定年退職者略歴・ 著作目録一覧
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN0006957X-00000069-0159

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

11. 「宇野善康ほか著『国際摩擦のメカニズム—異文化屈折理論をめぐって』」『法学研究』（慶應義塾大学），第56巻第9号，1983年。
12. 「K・ライター著『エスノメソドロジーとは何か』（高山真知子訳）」『法学研究』（慶應義塾大学），第61巻第11号，1988年。
13. 「藤田弘夫著『都市と権力』」『法学研究』（慶應義塾大学），第65巻第6号，1992年。

藤田弘夫 略歴・著作目録

2009（平成21）年10月14日 永眠（享年62）

出生地 神戸市東灘区住吉町唐松

現住所 神奈川県大和市つきみ野

[生年月日]

1947（昭和22）年9月7日生

[学歴]

1960年3月	神戸市東灘区住吉小学校卒業	
1963年3月	神戸市東灘区住吉中学校卒業	
1966年3月	兵庫県私立神港高等学校卒業	
1967年4月	慶應義塾大学文学部入学	
1971年3月	慶應義塾大学文学部史学科西洋史学専攻卒業	
1971年4月	慶應義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻	修士課程入学
1973年4月	慶應義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻	博士課程入学
1976年3月	慶應義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻	博士課程所定単位取得退学
1976年4月	慶應義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻	研究生
1977年3月	慶應義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻	研究生修了
1983年3月	社会学博士（慶應義塾大学）学位取得	

[職歴]

11978年4月	慶應義塾高等学校教諭（1982年3月まで）
1982年4月	慶應義塾大学医学部助手
1983年4月	慶應義塾大学文学部兼担
1983年4月	福澤研究センター研究員（2009年9月まで）
1984年4月	慶應義塾大学医学部専任講師
1987年4月	慶應義塾大学医学部助教授
1992年4月	ケンブリッジ大学社会・政治科学部客員研究員（1993年3月まで）
1994年4月	慶應義塾大学医学部教授

1995年4月 慶應義塾大学大学院社会学研究科委員
 1999年2月 北京外国語大学大学院日本学研究センター客員教授（1999年7月まで）
 2001年4月 慶應義塾大学文学部教授

【非常勤講師】

1976年10月 大手前女子大学文学部非常勤講師（1977年3月まで）
 1977年4月 慶應義塾大学商学部非常勤講師（1978年3月まで）
 慶應義塾高等学校非常勤講師（1978年3月まで）
 慶應義塾女子高等学校非常勤講師（1980年3月まで）
 1980年4月 北里大学教養部非常勤講師（1985年3月まで）
 北里高等看護学校非常勤講師（1981年10月まで）
 1985年4月 常磐大学人間科学部非常勤講師（1986年3月まで）
 1986年4月 北里大学教養部非常勤講師（1987年3月まで）
 1989年4月 慶應義塾大学大学院社会学研究科 兼任講師（1994年3月まで）
 1989年9月 東京大学文学部非常勤講師（1990年3月まで）
 1990年4月 関東学院大学経済学部非常勤講師（1991年3月まで）
 慶應義塾看護短期大学非常勤講師（1990年6月まで）
 1991年4月 関東学院大学文学部非常勤講師（1992年3月まで）
 1991年7月 島根大学教育学部非常勤講師（集中講義）
 1991年9月 国際基督教大学大学院行政学研究科非常勤講師（1991年12月まで）
 1994年4月 立教大学社会学部非常勤講師（1994年9月まで）
 日本大学文理学部非常勤講師（2007年11月まで）
 1994年7月 松山大学人文学部非常勤講師（集中講義）
 1994年10月 東京都立大学大学院都市科学研究科非常勤講師（1999年3月まで）
 1995年4月 立教大学大学院社会学研究科非常勤講師（1999年3月まで）
 国際基督教大学大学院行政学研究科非常勤講師（1995年6月まで）
 1997年4月 関東学院大学大学院文学研究科非常勤講師（2004年3月まで）
 日本大学大学院文学研究科非常勤講師（2008年3月まで）
 1997年9月 弘前大学人文学部非常勤講師（集中講義）
 1997年10月 東京大学文学部非常勤講師（1998年3月まで）
 1998年7月 九州大学大学院人間環境学研究科非常勤講師（2009年まで）
 2003年10月 名古屋大学文学部非常勤講師（集中講義）
 2004年4月 横浜市立大学大学院経済学研究科非常勤講師（2004年9月まで）

【受賞歴】

1. 1986（昭和61）年4月7日 財団法人東京市政調査会より、論文「都市と権力：社会的余剰の都市理論」にて、第12回藤田賞（都市研究の分野における賞）を受賞
2. 1990（平成2）年11月1日 日本都市学会より、著書『都市と国家—都市社会学を越えて—』（ミネルヴァ書房）にて、第12回日本都市学会賞（奥井記念賞）を受賞

3. 2009（平成21）年11月13日 慶應義塾大学より、「都市と権力に関する一連の著作活動」の業績にて、義塾賞を受賞

[業績]

1. 博士学位論文

『日本都市の社会学的特質』

昭和56年度文部省科学研究費補助（研究成果刊行助成）の交付により時潮社より刊行 全444頁

2. 著書・編書

a) 単著

1. 『日本都市の社会学的特質』時潮社
1982年4月, 444頁（博士学位論文を刊行したもの）
2. 『都市と国家—都市社会学を越えて—』ミネルヴァ書房
1990年1月, 285頁 *第12回 日本都市学会賞受賞
3. 『都市と権力—飢餓と飽食の歴史社会学—』創文社
1991年6月, 340頁
4. 『都市の論理—権力はなぜ都市を必要とするのか—』中央公論社
中公新書1151番 1993年10月, 229頁
1997年9月 クジェ出版（KUKJE PUBLISHING HOUSE）より韓国語訳
5. 『人間は、なぜ都市を作るのか—都市に見る人間の移り変わり—』ポプラ社
10代教養文庫 1995年5月, 188頁
6. 『奥井復太郎—都市社会学と生活論の創立者—』東信堂
日本の社会学 第7巻 2000年7月, 162頁
7. 『都市と文明の比較社会学—環境・リスク・公共性—』東京大学出版会
2003年11月, 314頁
8. 『路上の国柄—ゆらぐ「官尊民卑」—』文藝春秋, 2006年11月, 190頁
9. 『社会を見る・読む・考える—公共観の比較社会学—』
2009年9月脱稿（東信堂より刊行予定）

b) 編著書・共著書

1. 『都市化と地域社会』（野原忠博ほか4名と共著）、時潮社、1978年12月、227頁
2. 『都市：社会学と人類学からの接近』（吉原直樹と共編）、ミネルヴァ書房、1987年4月、274頁
3. 『飢餓・都市・文化：「都市論」を越えて』（編著）柏書房、1993年1月、143頁
4. 『都市とモダニティ—都市社会学コメンタール—』（吉原直樹と共編）ミネルヴァ書房、1995年5月、263頁
5. 『現代人の社会学入門：権力から読みとく』（西原和久と共編）有斐閣、1996年2月、302頁
6. 『都市社会学』（吉原直樹と共編）有斐閣、1999年7月、269頁
7. 『都市論と生活論の祖型—奥井復太郎の研究—』（川合隆男と共編）慶應義塾大学出版会、1999年10

月, 373頁

8. 『増補版・現代人の社会学入門：権力から読みとく』（西原和久と共編）有斐閣, 2000年11月, 334頁
9. 『都市社会とリスク』（浦野正樹と共編）東信堂, 社会学の批判と創造シリーズ 第6巻, 2005年5月
10. 『地域社会学の視座と方法』（小内透・中筋直哉・西山八重子・町村敬志と共編）東信堂, 地域社会学講座 第1巻, 似田貝香門監修, 2005年5月
11. 『神田神保町とヘイ・オン・ワイー古書と街づくりの比較社会学—』（大内田鶴子・熊田俊郎・小山騰と共編）東信堂, 2008年7月
12. 『世界の都市社会計画』（橋本和孝・吉原直樹と共編）東信堂, 2008年11月
13. 『都市社会計画の思想と展開』（橋本和孝・吉原直樹と共編）東信堂, 2009年10月
14. 『東アジアにおける公共性の変容』（仮題）（編著）慶應義塾大学出版会, 2010年刊行予定
15. 『社会学理論探求』（仮題）（金子勇・盛山和夫・吉原直樹・今田高俊と共著）勁草書房, 2010年刊行予定

3. 翻訳

1. A.H.ホーリー（Hawley）『都市社会の人間生態学』時潮社, 矢崎武夫監訳, 1980年5月, 21-75頁（第2章と第3章）
2. E.ミンジオーネ（Mingione）『都市と社会紛争』新泉社, 1985年5月, 244頁
3. アンソニー・ギデンズ（Giddens）『社会理論と現代社会学』青木書店, 訳と監修, 1998年9月, 434頁
4. パトリック・ゲデス（Geddes）「市政学：応用社会学の試み」P.ゲデス研究会と共訳, 『哲学』第114号, 特集号 都市・公共性・身体, 三田哲学会, 2005年3月, 29-90頁
5. パトリック・ゲデス（Geddes）「市政学：具体性と応用社会学の試み」P.ゲデス研究会と共訳, 『哲学』第114号, 特集号 都市・公共性・身体, 三田哲学会, 2005年3月, 91-170頁

4. 研究論文

a) 都市社会学の分野

1. 「アーバンイズム理論とサバービア」慶應義塾大学大学院『社会学研究科紀要』第15号, 1975年1月, 9-16頁
2. 「比較都市社会学とM. ウェーバーの都市論」三田哲学会編『哲学』第64集, 1976年1月, 59-76頁
3. 「都市社会学の理論的課題—都市社会学の理論的危機に関する考察—」日本社会学会編『社会学評論』第27巻 第1号, 1976年7月, 有斐閣, 56-70頁
4. 「アメリカの社会研究と都市社会学」日本都市学会編『都市自治をめぐる学際的研究』1979年6月, 地人書房, 177-188頁
5. 「日本都市の社会的特質に関する考察—集権制と町内会・自治会—」日本社会学会編『社会学評論』第30巻 第4号, 1980年3月, 有斐閣, 2-16頁
6. 「集権制と町内会との関連から見た日本都市の社会的特質」神奈川県私立中学高等学校校長協会

編、『研究論文集』1980年、39-46頁

7. 「柳田国男の都市論と都市社会学」神奈川県私立中学高等学校校長協会編『研究論文集』1981年、21-36頁
8. 「都市と国家の関係について—Urban Sociology に関する一考察—」日本社会学会編『社会学評論』第34巻 第4号、1984年3月、有斐閣、21-36頁
9. 「現代西欧諸社会の変貌と再編成—80年代の諸相と変貌—」宮島喬・梶田孝道編『現代ヨーロッパの地域と国家—変容する〈中心—周辺〉問題への視角—』有信堂、1988年4月1日、257-282頁
10. 「都市と農村のパラドクス—都市と食糧—」『人文科学研究所報』第15号、関東学院大学、1992年3月、77-94頁
11. 「都市と国家」『CEL』(Culture, Energy and Life) Vol. 25, 大阪ガス(株) エネルギー・文化研究所、1993年9月、35-38頁
12. 「都市形成の論理」藤田弘夫・吉原直樹編『都市とモダニティー—都市社会学コメンタール—』ミネルヴァ書房、1995年5月、32-40頁
13. 「都市の発展と衰退」藤田弘夫・吉原直樹編『都市とモダニティー—都市社会学コメンタール—』ミネルヴァ書房、1995年5月、40-45頁
14. 「都市の論理とその変態」『ANEMOS』第12号 都市あるいはメタルフォーゼの森、1995年、43-47頁
15. 「都市・飢餓・民衆」『歴博』第73号、国立歴史民俗博物館、1995年10月、4-7頁
16. 「都市と農村—人はなぜ都市に向かうのか—」藤田弘夫・西原和久編『権力から読みとく：現代人の社会学入門』有斐閣、1996年2月、87-101頁
17. 「現代都市へのアプローチ」関東都市学会編『関東都市学会論集』第2号、1996年3月、11-21頁
18. 「都市の交流と分権化社会」全国都市問題会議編『都市と交流』1996年10月、55-63頁
19. 「奥井都市論の形成と構成」三田社会学会編『三田社会学』第2号、1996年7月12日、38-44頁
20. 「奥井復太郎と都市社会学」地域社会学会編『シティズンシップと地域社会の再生』地域社会学会年報 第10集、ハーベスト社、1998年5月、150-169頁
21. 「奥井復太郎と『現代大都市論』」日本都市学会編『都市における共生空間の創造』第31集、1998年6月、153-158頁
22. 「都市社会学の方法と対象—ひとつの都市・いくつもの都市像—」藤田弘夫・吉原直樹編『都市社会学』有斐閣、1999年7月、1-18頁
23. 「今、なぜ、統合機関か」関東都市学会編『関東都市学会年報』Vol.3、2000年、2-6頁
24. 「人口都市化の諸問題」日本人口学会編『人口大辞典』培風館、2002年、139-143頁
25. 「都市と社会の論理」藤田弘夫・浦野正樹編『都市社会とリスク』東信堂、2005年5月、3-30頁

b) 都市と国家の歴史社会学の分野

1. 「都市と権力—社会的余剰の都市理論—」慶應義塾大学文学部社会学研究室編『社会生活の場面と人間』慶應通信、1985年3月、161-183頁
2. 「都市と国家—戦争・内乱・革命—」藤田弘夫・吉原直樹編『都市：社会学と人類学からの接近』ミネルヴァ書房、1987年4月、2-21頁

3. 「都市と国家—情報とルール—の権力理論」地域社会学会編『現代都市論の視角』地域社会学会年報 第4号, 時潮社, 1987年9月, 149-177頁
4. 「都市の論理と国家の論理の交錯と展開」『言語・文化・コミュニケーション』慶應義塾大学日吉紀要 第8号, 1991年11月, 79-93頁
5. 「中国社会主義と『都市=農村関係』の展開」『社会科学』慶應義塾大学日吉紀要 第3号, 1992年5月, 1-27頁
6. "The City and the Power: Social Theory of City and Country,"『社会科学』慶應義塾大学日吉紀要 第5号, 1994年3月, 1-36頁
7. 「戦時下の都市論と国土論」『奥井復太郎著作集』別巻, 大空社, 1994年12月, 357-372頁
8. 「中国の都市思想」藤田弘夫・吉原直樹編『都市とモダニティ—都市社会学コメンタール—』ミネルヴァ書房, 1995年5月, 216-221頁
9. 「首都の比較史—日本史研究会50周年記念シンポジウム批判」『日本史研究』日本史研究会編, 第406号, 1996年6月, 47-53頁
10. 「都市とは何か—飢餓のパラドックス」日本古代史の最前線『王城と都市』別冊歴史読本, 新人物往来社, 1999年1月, 9-16頁
11. 「都市の誕生」奈良女子大学古代学研究センター準備室『都市の誕生』1999年3月, 1-11頁
12. 「都市と環境—モダニティとアーバンイズム—」『情況—特集 都市・環境・モダニティ』情況出版, 1999年10月号, 49-65頁
13. 「都市論—光と闇の歴史社会学」『情況別冊 現代社会学のトポス』情況出版, 1999年11月, 145-161頁
14. 「都市とユートピア」『人間と社会の探求』慶應義塾大学社会学研究科紀要, 第55号, 2003年3月, 5-26頁
15. 「地域社会と地域社会学」『地域社会学の視座と方法』地域社会学講座 第1巻, 東信堂, 2006年5月, 5-26頁
16. 「都市社会のリスク: 飢餓と飽食の世界」日本学術協力財団『学術の動向』2008年11月号, 18-23頁

c) 都市計画・まちづくり論の分野

1. 「国の地域政策と都市の分類」東京市政調査会編『都市問題』第77巻 第6号, 1986年6月, 28-40頁
2. 「日本の社会発展と国土利用計画—21世紀に向けて—」日本計画行政学会編『計画行政』第17巻3号, 1994年12月, 10-15頁
3. 「日本の都市と街並み—『計画』と『無計画』のはざままで」笠原清志・西原和久・宮内正編『社会構造の探究—現実と理論のインターフェイス』新泉社, 1995年11月, 205-227頁
4. 「都市の共同性と町並み—都市計画の比較社会学—」歴史と方法編集委員会編『都市と言語』青木書店, 1998年1月, 119-146頁
5. 「人類と都市の発展」全国市長会編『市政』1998年2月, 107-111頁
6. 「都市と町並み—都市と土地の比較社会学」関東学院大学『人文科学研究所報』第21号, 1998年3

月, 41-51頁

7. 「都市学の新世紀」『都市の活発化とNPO』日本都市学会年報37号, 2004年4月, 9-13頁
8. 「都市の無計画と過剰計画—街並みの自由と建築物の施設規制—」『関東都市学会年報』第8号, 2006年3月, 2-8頁
9. 「都市空間の創出と社会生活」山室信一編『空間形成と世界認識』帝国日本の学知 第8巻, 岩波書店, 2006年10月, 157-194頁
10. 「地域社会の崩壊と再生の模索」友枝敏雄・山田真茂留編『Do! ソシオロジー』有斐閣, 2007年5月, 99-118頁
11. 「ヘイ・オン・ワイと古書の町と古書の町運動」慶應義塾大学藝文学会『藝文研究』92号, 2007年, 115-126頁
12. 「古書のまちとまちづくり」大内田鶴子・熊田俊郎・小山騰・藤田弘夫編『神田神保町とヘイ・オン・ワイ—古書と街づくりの比較社会学—』東信堂, 2008年7月, 4-46頁
13. 「都市社会計画の比較社会学」橋本和孝・藤田弘夫・吉原直樹編『世界の都市社会計画』東信堂, 3-22頁, 2008年11月
14. 「地域」(土居洋平と共著)友枝敏雄・浜日出夫・三重卓編『社会理論と社会システム—社会学』(新・社会福祉士養成講座 第3巻)中央法規出版, 2009年3月, 82-94頁
15. 「迷路と蜘蛛の巣を生み出す都市計画」橋本和孝・藤田弘夫・吉原直樹編『都市社会計画の思想と展開』東信堂, 2009年10月, 61-81頁

d) 文化論・公共性論の分野

1. 「揺らぎのなかの人間」藤田弘夫・吉原直樹編『都市とモダニティ—都市社会学コメンタール—』ミネルヴァ書房, 1995年5月, 2-7頁
2. 「言語と人間—権力はことばをどう生み出してきたか」藤田弘夫・西原和久編『権力から読みとく: 現代人の社会学入門』有斐閣, 1996年2月, 177-191頁
3. 「時間と人間—時はどのように作り出されてきたか」(竹内治彦と共著)藤田弘夫・西原和久編『権力から読みとく: 現代人の社会学入門』有斐閣, 1996年2月, 227-243頁
4. 「海外勤務者の文化的価値観の変化」(夏刈康男と共著)『日本大学精神文化研究所紀要』第30集, 2000年3月, 46-65頁
5. 「官僚制—官と民の社会学—」伊原弘・小島毅編『知識人の諸相—中国宋代を基点として』勉誠出版, 2001年4月, 77-80頁
6. 「官の世界・民の世界」『人文学と情報処理』Vol.38, 勉誠出版, 2001年11月, 2-6頁
7. 「都市と権力: 二つの権力概念と実験的な都市分析」『環: 歴史・環境・文明』第17巻 特集 都市とは何か, 藤原書店, 2004年4月, 9-13頁
8. 「街角で感じる『公』と『私』: 新しい公共性を求めて」今田高俊・金泰昌編『都市から考える公共性』(公共哲学 第13巻), 東京大学出版会, 2004年
9. 「身体と環境の歴史社会学」『哲学』第114号(特集 都市・公共性・身体), 三田哲学会, 2005年3月, 215-239頁
10. 「世界の大学・国家の大学・地域の大学」関東都市学会編『大学と地域社会—地域大学のパート

ナーシップ論』コーシン出版, 2006年3月, 5-11頁

11. 「東アジアと死刑の風景—死刑のイメージの比較社会学—」富谷至編『東アジアの死刑』京都大学学術出版会, 2008年3月, 385-415頁
英訳, 中国語訳, 韓国語訳有。
12. 「空間表象から見た公共性の比較社会学—社会理論から公共性論へ—」日本社会学理論学会編『現代社会学理論研究』3号, 2009年, 16-27頁
13. 「機能としての新しい公共観を探る—公・私という言葉の落とし穴—」『改革者』政策研究フォーラム, 2009年8月号, 52-55頁
14. 「公共性の比較社会学」藤田弘夫編『東アジアにおける公共性の変容』（仮題）慶應義塾大学出版会, 2010年刊行予定

e) 社会学理論・社会学史の分野

1. 「社会思想としてのアメリカ都市社会学—アメリカ都市研究の知識社会学的研究—」三田哲学会編『哲学』第67集, 1978年1月, 65-90頁
2. 「地理学方法論の社会科学的基礎—地理学における理論構成と概念構成—」三田史学会編『史学』第50巻記念号, 1980年11月, 687-709頁
3. 「社会学における理論構成の基礎」山岸健・平野敏政・宮家準編『生活の学としての社会学』総合労働研究所, 1982年5月, 324-351頁
4. 「1920年代のアメリカ社会学の動向」日本社会学史学会編『社会学史学会年報』第6号, 1984年3月, 14-29頁
5. 「社会科学の新しいパラダイムとしての権力論」『法学研究』慶應義塾大学, 第65巻第1号, 1992年1月, 313-338頁
6. "Power as a Social Theory of the Guarantee and the Domination," 『社会科学』慶應義塾大学日吉紀要, 第6号, 1994年3月, 40-63頁
7. 「権力と社会—社会はどのように形成されているのか」藤田弘夫・西原和久編『権力から読みとく：現代人の社会学入門』有斐閣, 1996年2月, 3-15頁
8. 「情景・社会学・1996」『三田社会学』創刊号, 1996年7月, 16-22頁
9. 「社会思想から都市研究へ」『奥井復太郎著作集』別巻, 大空社, 1996年12月, 303-317頁
10. 「孤高の研究としての奥井大都市論」『奥井復太郎著作集』別巻, 大空社, 1996年12月, 340-356頁
11. 「ソローキンの学問と生涯」ソローキン（大矢根淳訳・解説）『災害における人と社会』文化書房博文社, 1998年11月, 223-240頁
12. 「奥井都市論と欧米の社会科学—ラスキン・ドイツ中世都市・シカゴ学派—」川合隆男・藤田弘夫編『都市論と生活論の祖型—奥井復太郎の研究—』慶應義塾大学出版会, 1999年10月, 39-62頁
13. 「都市社会学の多系的発展—都市社会学100年史—」慶應義塾大学大学院『社会学研究科紀要』第54号, 2002年11月, 23-39頁
14. 「ある社会学者の闘い—P.A. ソロキンの数奇な生涯—」『法学研究』第67巻第1号, 慶應義塾大学, 2004年, 149-184頁

15. 「近代化と社会学像の変貌：社会学研究の発展と融解」現代社会理論研究会編『現代社会理論研究』第14号，人間の科学社，2004年10月，437-448頁
16. 「P.ゲアスと都市社会学の発展」『哲学』第114号（特集 都市・公共性・身体）三田哲学会，2005年3月，5-37頁
17. 「都市の歴史社会学と都市社会学の学問構造」東京大学社会科学研究所編『社会科学研究』第57巻3・4合併号，2006年3月，117-136頁
18. 「日本都市社会学の発展と変貌—始動・発展・拡散—」『法学研究』第82巻第12号，慶應義塾大学，2009年12月刊行予定
19. 「社会学理論探求史」『社会学理論探求』（仮題）勁草書房，2010年刊行予定

f) 書評論文

1. 「羽田正・三浦徹編『イスラム都市研究』東京大学出版会，1991年」日本中東学会編『日本中東学会年報』第7号，1992年4月，475-493頁
2. 「社会学史研究の旋回：夏刈康男『社会学者の誕生』厚生社恒星閣」日本大学社会学会『社会学論叢』128号，1997年3月，47-58頁
3. 「『21世紀の都市社会学』勁草書房全5巻：二つの都市研究と都市社会学の理論的課題」日本社会学会編『社会学評論』第48巻第2号，1997年10月，208-213頁

5. 歴史叙述・資料編纂および事典の執筆

1. 大井町史編纂委員会『大井町史・資料編』近現代「昭和前期・1925-1945総説」7-19頁，「新聞資料・昭和前期—政治」36-93頁，「新聞資料・昭和前期—経済」123-156頁，「新聞資料・昭和前期—文化」177-187頁，1986年3月
2. 「都市社会学研究文献1970-1984年」（渡戸一郎と共編）地域社会学会編『都市論への視角』地域社会学会年報 第4号，時潮社，1987年9月，273-313頁
3. 見田宗介・栗原彬・田中義久編『社会学事典』弘文堂（1988年2月）のうち「スプロール現象」「都市地域」「都鄙」「都鄙共同体」「都鄙接触地帯」の4項目を執筆
4. 大井町史編纂委員会『大井町史・通史編』下巻 「昭和恐慌下の大井」479-523頁，「総力戦から敗戦へ」524-576頁，1988年3月
5. 森岡清美・塩原勉・本間康平編集代表『新社会学事典』有斐閣（1993年4月）の「都市国家」「都市経済学」「J. R. メラー」「E. ミンジョーネ」の4項目を執筆。
6. 共編書『都市とモダニティー都市社会学コメンタールー』（ミネルヴァ書房，1995年5月）の用語・人名解説のうち「首都」「統合機関」「反都市主義」「マンフォード」を執筆
7. 「資料 世界最大の都市」「資料 世界の大都市地域」「文献目録」藤田弘夫・吉原直樹編『都市とモダニティー都市社会学コメンタールー』ミネルヴァ書房，1995年5月
8. 川合隆男・山岸健と『奥井復太郎著作集』全8巻 別巻1，大空社，1996年7月，12月を監修
9. 「ミンジョーネ『都市と社会紛争』」見田宗介他編『社会学文献目録辞典』弘文堂，1997年10月
10. 長谷川公一・吉原直樹とともに、『社会学思想シリーズ』全12巻，青木書店の編集，1998年9月より刊行開始。

11. 板倉達文・稲上毅・小井土章宏・佐藤芳樹・北川隆吉・友枝敏雄とともに、『社会学調査全書』全 20 巻，文化書房博文社を編集，1998 年 10 月より刊行開始。
12. 川合隆男・竹村英樹編『近代日本社会学者小伝』勁草書房（1998 年 12 月）の「奥井復太郎」（447-450 頁），「樺俊雄」（561-563 頁），「矢崎武夫」（688-691 頁）の 3 名を執筆。
13. 藤田弘夫・吉原直樹編『都市社会学』（有斐閣，1999 年 7 月）名著解説，「矢崎武夫『日本都市の発展過程』（256-257 頁），「M・ウェーバー『都市の類型学』（258-259 頁），「L・マンフォード『歴史の都市・明日の都市』（260-261 頁），「J・ジェイコブス『都市の経済学』（264 頁）を担当
14. 「都市と農村—二分法と連続法」（48-49 頁），「地域史研究」（60-61 頁） 地域社会学会編『地域社会学キイ事典』ハーベスト社，1999 年
15. 「日大社会学科の誕生・あゆみ・これから」『社会学論叢』日本大学社会学会，No. 136 号，23-36 頁，2000 年（再録『社会学論叢』日本大学社会学会，No. 165 号，75-88 頁，2009 年）
16. 「日本都市学会—現在・過去・未来—」『日本都市学会 50 周年記念誌』関東社会学会，第 6 号，2006 年 3 月
17. 「奥井復太郎」「田中一貞」「田中萃一郎」『慶應義塾事典』慶應義塾大学出版会，2008 年
18. 「三田社会学のこれまでとこれから—慶應社会学の起源・形成・発展—」『三田社会学』14 号，2009 年 7 月，34-47 頁

6. 科学研究費報告書等

1. 「『中央—地方』問題によせて—第三世界と首座都市（Primate City）—」宮島喬編『現代ヨーロッパの地域問題と地域運動』昭和 60-62 年度科学研究費研究成果報告書，地域問題と地域運動の国際比較，1988 年 4 月，93-100 頁
2. 「都市と国家—都市と農村のパラドクス—」『創文』296 号，創文社，1989 年 2 月，14-17 頁。後に『イスラムの都市性・研究報告』研究報告編，第 5 号，文部省科学研究費重点領域研究「イスラムの都市性」事務局，東京大学東洋文化研究所内，1989 年 3 月，55-58 頁に再録
3. 「中国都市の伝統と現代」文部省科学研究費研究報告書『中国都市と社会変動』十時巖周研究代表，1992 年 3 月，16-37 頁
4. 慶應義塾大学文学部 藤田ゼミナール編『北東イングランド勤務者帰国後調査資料』1998 年 3 月 31 日
5. 慶應義塾大学社会学 藤田弘夫ゼミナール編『東北イングランドの勤務者調査資料』1999 年 3 月 31 日
6. 藤田弘夫研究代表『国民国家の形成と都市化に関する歴史社会学的研究』文部省科学研究費報告書，基盤研究(C)(2)，1999 年 3 月 31 日
7. 『国際化時代における日本家族の生活文化の変容過程研究』井上俊一他 6 名と共著，日本大学精神文化研究所，2000 年 3 月 31 日，7-19 頁
8. 藤田弘夫研究代表『日本企業のイギリスへの工場進出—従業員の文化変容—』文部科学研究費報告書，基盤研究(B)(2)，2002 年 3 月 31 日
9. 「中国都市の発展過程：伝統都市—社会主義の都市—改革開放の都市」熊田俊郎研究代表，文部省科学研究費研究報告書，基盤研究(C)(1)『中国・北京の都市空間構造に関する研究』2004 年 3 月，

1-11頁

10. 藤田弘夫研究代表『都市生活における「公共性」の比較社会学的研究』文部省科学研究費報告書, 基盤研究(C)(2), 2004年3月31日
11. 「東アジア社会と死の風景」富谷至研究代表『東アジアにおける法と慣習—死刑をめぐる諸問題—』科学研究費補助金報告書, 基盤研究(A), 2006年3月, 56-67頁
12. 「古書の町とまちづくり」『英国・日本における古書店街の比較社会学的研究—まちづくり思想の相違について—』大内田鶴子研究代表, 科学研究費補助金報告書, 基盤研究(B), 2007年5月, 6-25頁
13. 藤田弘夫研究代表『英国・中国・日本における「公共性」の相違に関する比較社会的研究』文部省科学研究費報告書, 基盤研究(B), 2008年3月, 5-27頁, 187-270頁
14. 藤田弘夫編『都市生活と「公共性」の比較社会学』グローバルゼーションと東アジア研究会, 基礎資料, 2009年, 全302頁

7. 一般雑誌・小論文・書評・その他

1. 「書評 下田直春著『社会学的思考の基礎』新泉社」『図書新聞』1978年12月2日号。(再録: 故下田直春先生十年目の思い出の文集刊行委員会編『結び来たりし日々』2005年5月, 服部印刷(非売品) 77-79頁)
2. 「書評 J. バーナード著 正岡寛司訳『コミュニティ批判』早稲田大学出版部」『図書新聞』1979年3月3日号
3. 「新刊紹介」小関藤一郎著『デュルケームと近代社会』法政大学出版会, S. ケアレス『カナダの歴史』山川出版等を『図書新聞』紙上に紹介
4. 「新著余瀝『日本都市の社会学的特質』時潮社」『三田評論』1982年7月10日, 124頁
5. 「アメリカの都市と日本の都市—自治のあり方と国際社会の対応—」塾友社『塾友』, 25-27頁, 1982年7月
6. 「書評 金子勇著『コミュニティの社会理論』アカデミア出版会」日本社会学会編『社会学評論』第34巻2号, 有斐閣, 1983年9月, 206-208頁
7. 「戦前の大井町」(上) 埼玉県大井町役場企画財政課 広報『おおい』町史編纂だより(58), 1983年11月1日
8. 「戦前の大井町」(下) 埼玉県大井町役場企画財政課 広報『おおい』町史編纂だより(59), 1983年12月1日
9. 「広田康生氏・大沢善信氏の報告とその討論に寄せて」地域社会学会『会報』第24号, 1984年3月17日, 9-10頁
10. 「金子勇著『コミュニティの社会理論』のラウンド・テーブルを司会して」『日本都市社会学会年報』第2号, 1984年10月1日, 9-10頁
11. 「権力の鏡: 都市」都市科学振興会『都市科学』1984年5月10日, 22-23頁
12. 「戦後都市社会学の諸問題—アーバン・ソシオロジーとの関連で—」地域社会学会『会報』第27号, 1985年1月29日, 2-3頁
13. 「書評 R.E. パーク著 町村敬志・好井裕明編訳『実験室としての都市』御茶の水書房」『エコノ

- ミスト』毎日新聞社, 1986年7月15日号, 93-94頁
14. 藤田賞受賞論文概要「都市と権力—社会的余剰の都市理論—」東京市政調査会編『都市問題』第77巻第7号, 1986年7月, 117-120頁
 15. 「共通課題『転換する地域社会』に向けて」地域社会学会『会報』第35号, 1986年12月26日, 11-12頁
 16. 「書評 石田頼房『日本近代都市計画百年』自治体研究社」『エコノミスト』毎日新聞社, 1987年5月19日号, 91-93頁
 17. 「都市生活と飢餓」慶應義塾大学通信教育補助教材『三色旗』, 1987年8月号, 23-25頁
 18. 「シンポジウム「イスラム自由都市論」批判(1)」『イスラムの都市性・研究報告』研究報告編, 第5号, 文部省科学研究費, 重点領域研究「イスラムの都市性」事務局, 東京大学東洋文化研究所内, 1989年3月, 1-74頁
 19. 「書評 吉原直樹著『戦後改革と地域住民組織—占領下の都市町内会—』ミネルヴァ書房 1989年」神奈川大学人文学会『人文研究』第105集, 1989年12月, 37-44頁
 20. 「鼎談『都市を読む』」慶應義塾大学通信教育補助教材『三色旗』, 1990年4月号, 11-27頁
 21. 「新著紹介『都市と国家』」慶應義塾大学通信教育補助教材『三色旗』, 1990年4月号, 30頁
 22. 「追想・島崎稔」島崎稔追悼文集刊行委員会『回想・島崎稔』時潮社, 1990年5月, 40-41頁
 23. 「新著余瀝『都市と国家』ミネルヴァ書房」『三田評論』1990年5月号, 108頁
 24. 「島崎先生に聞く」木本喜美子と共同『地域社会学会年報』第5号, 1991年5月15日, 211-236頁
 25. 「塾史散歩『チグハグな空間』」『慶應義塾大学報』1991年7月1日
 26. 「権力論—そして社会科学のあたらしい方法」『創文』324号, 創文社, 1991年8月1日, 11-14頁
 27. 「新著紹介『都市と権力—飢餓と飽食の歴史社会学』慶應義塾大学通信教育補助教材『三色旗』, 1992年4月号
 28. 「世界都市論に向けて—都市と農村のパラドックス」『「世界都市の研究」に関する研究記録』(その1), NIRA大都市問題研究グループ, 1992年3月, 1-37頁
 29. 「転換期の地域社会学・中間考察」地域社会学会『会報』No.66, 地域社会学会, 1993年11月15日, 3-6頁
 30. 「書評 浅野慎一著『世界変動と出稼・移民労働の社会理論』大学教育出版」日本社会学会編『社会学評論』第45巻1号, 1994年7月1日, 101-102頁
 31. 「日本都市の『計画』と『無計画』」『創文』356号, 創文社, 1994年7月1日, 14-17頁
 32. 「『日大』学ことはじめ・社会学」『学叢』日本大学文理学部, 第56号, 1995年4月, 47-54頁
 33. 「文化をつくりだす劇場としての都市」『NIRA政策研究: 世界都市の研究 その2—東京の課題—』総合研究開発機構, 1995年, Vol.8 No.9, 22-25頁
 34. 「マリー・コントヘルム『日本人とヨーロッパ—イメージ・投資・文化交流』の解題」『社会学論叢』日本大学社会学, 125号, 1995年3月, 64-66頁
 35. 「私が修論を書いていたころ」『都市研ニューズレター』都立大学都市科学研究科院生室発行, 1995年11月20日
 36. 「ことばの虜」慶應義塾大学通信教育教材『三色旗』, 1997年3月号, 1頁
 37. 「権力から読み解く都市」日本建築学会編『建築雑誌』Vol.112 No.1406, 1997年5月, 40-41頁

38. 「奥井復太郎生誕100年記念シンポジウム」『三田社会学』三田社会学会編，第3号，1998年7月10日，25-27頁
39. 「三回の中国訪問」『日本学研究センター通信』北京外国語大学日本学研究センター，1999年6月30日
40. 「学問と学会—ボランティアと官僚制」『地域社会学会会報』第100号，1999年9月10日
41. 「都市—ミレニアムを超えて—」『書齋の窓』有斐閣，第491号，28-31頁，2000年2月1日
42. 「都市の光と影」『書齋の窓』有斐閣，第493号，40-43頁，2000年4月1日
43. 「都市論と生活論の祖型」慶應義塾大学大学通信教育教材『三色旗』2000年4月号，53頁
44. 「都市の概念と自治」『書齋の窓』有斐閣，第495号，50-53頁，2000年6月1日
45. 「都市—さまざまな官と民」『書齋の窓』有斐閣，第497号，40-43頁，2000年9月1日
46. 「都市—計画とまちづくり」『書齋の窓』有斐閣，第499号，46-49頁，2000年11月1日
47. 「20世紀の名著奥井復太郎『現代大都市論』」『書齋の窓』有斐閣，第500号，12頁，2000年12月1日
48. 「日本における『では』の神信仰と『には』の神信仰」『書齋の窓』有斐閣，第493号，24-27頁，2001年1月2日
49. 「今，なぜ，統合機関か」『関東都市学会年報』関東社会学会，第3号，1-2頁，2001年5月
50. 「対談，門内輝行，三宅理一，深谷昌弘『都市の未来と機能像—多様性・発見・創発』」『三田評論』2001年5月号，12-27頁
51. 「まち街に見る『公』と『私』」『関東都市学会ニュース』2001年7月号，8頁
52. 「地域における『公共性』の再編成」地域社会学会『会報』第111号，2001年11月，2-4頁
53. 「討論・古代王権の成立」広瀬和雄・小路田泰直編『日本古代王権の成立』青木書店，2002年3月，227-266頁
54. 「書評 今田高俊著『意味の文明学』東京大学出版会」日本社会学会編『社会学評論』第53巻第3号，2002年12月，423-425頁
55. 「討論・古代王権の空間支配」広瀬和雄・小路田泰直編『日本古代王権の展開』青木書店，2003年3月，228-289頁
56. 「A.スモール『社会学の時代』解題」『人間と社会の探求』慶應義塾大学社会学研究科紀要，第55号，2003年3月，82頁
57. 「C.ズウェリン『世界で最初の社会学的実験室』解題」『人間と社会の探求』慶應義塾大学社会学研究科紀要，第55号，2003年3月，5-26頁
58. 「特集『身体と医療の社会学』に寄せて」三田社会学会『三田社会学』第8号，2003年7月，1-2頁
59. 「大学院過去の10年とこれから」『関東学院大学大学院文学研究科』創立10周年記念誌，2003年，80-81頁
60. 「国家像の変遷と町村合併—主体と従属の比較社会学—」地域社会学会『会報』第123号，2004年3月，6-10頁
61. 「書評 秋元律郎著『現代都市とエスニシティ』早稲田大学出版会」『地域社会学会年報』第16集，ハーベスト社，2004年5月，205-207頁
62. 「関東都市学会・日本都市学会—過去・現在・未来—」『関東都市学会年報』関東社会学会，第6

号, 2004年5月, 1-2頁

63. 「矢崎武夫会員の逝去」『関東都市学会ニュース』2005年2月号, 3頁
64. 「日本都市学会開催後の関東都市学会の活動」『関東都市学会年報』関東社会学会, 第7号, 2005年3月, 1-2頁
65. 「チャールズ R. ヘンダーソン『ボランティア・アソシエーションの場と機能』解題」『人間と社会の探求』慶應義塾大学社会学研究科紀要, 第59号, 2005年3月, 81-82頁
66. 「下田先生とケンブリッジ」故下田直春先生十年目の思い出の文集刊行委員会編『結びきたりし日々』服部印刷(非売品), 2005年5月, 104-108頁
67. 「矢崎武夫先生を偲んで」『日本社会学会ニュース』第184号, 2005年4月26日, 12-14頁
68. 「国際的クリスチャン社会学者・矢崎武夫先生」『三田評論』2005年5月号, 112頁
69. 「書評のリプライ『都市と文明の比較社会学—環境・リスク・公共性』」『三田社会学会』第10号, 2005年7月9日, 154-157頁
70. 「討論・王統譜」広瀬和雄・小路田泰直編『王統譜』青木書店, 2005年10月, 181-222頁
71. 「関東社会学会第54回大会ご挨拶」『関東社会学会ニュース』第112号, 2006年5月, 1-2頁
72. 「執筆のノート『路上の国柄—ゆらく官尊民卑』」『三田評論』2007年3月, 77頁
73. 「考えない能力の発展?」『三色旗』2007年5月, 1頁
74. 「D.ピール先生の講演について(コメント論文)」『関東都市学会年報』関東社会学会, 第6号, 2007年3月, 68頁
75. 「書評 ジャン・リュック=ナンシー著(小倉正史訳)『遠くの都市』青弓社」『図書新聞』, 2007年6月16日, 2825号, 5頁
76. 「書評論文リプライ『路上の国柄』」『三田社会学』第12号, 2007年7月14日, 122-124頁
77. 「路上に見る官尊民卑」『分権型社会の創造に向けて』自治体議会政策学会, 2007年10月
78. 「書評 井上繁著『まちづくり辞典』」『学燈』冬号, 第104巻第4号, 2007年12月, 53頁
79. 「グローバリゼーションと東アジアの公共性の変化」『慶應義塾大学東アジア研究所ニューズレター』No.10, 2008年7月, 12-15頁
80. 「ブックタウンと農村ツーリズム—ヘイ・オン・ワイ」『CHIKAI』301号, 2008年3月
81. 「グローバリゼーションと東アジアの公共性の変化」『慶應義塾大学東アジア研究所ニューズレター』No.12, 2009年7月, 1-3頁
82. 「ヘイ・オン・ワイと古書の町のひろがり—観光化と農村のツーリズム—」橋本和孝・藤田弘夫・吉原直樹編『都市社会計画の思想と展開』東信堂, 2009年10月, 175-181頁

8. 学会報告等

1. 「比較都市社会学と M. ウェーバーの都市論」, 日本社会学会第48回大会, 成蹊大学, 1975年11月2日
2. 「都市社会学の理論的危機をめぐる一考察」, 関東都市学会第33回例会, 慶應義塾大学, 1976年9月18日
3. 「地域分析のための方法的枠組に関する研究」, 日本社会学会第50回大会, 国立教育会館, 1977年11月2日

4. 「地理学における理論構成と概念構成に関する考察」, 日本地理学会春季学術大会, 日本大学, 1978年4月4日
5. 「社会思想としてのアメリカ都市社会学」, 日本社会学史学会1978年度大会, 日本大学, 1978年6月4日
6. 「アメリカの社会研究と都市社会学」, 日本都市学会第25回大会, 都市センター, 1978年6月29日
7. 「集権制と町内会・自治会—行制区域を媒介として—」, 日本社会学会第52回大会, 茨城大学, 1979年10月13日
8. シンポジウム「都市に生きる」座長, 関東社会学会第28回大会, 東洋大学, 1980年6月7日
9. 「Urban Sociology に関する一考察—都市と全体社会の関連について—」, 日本社会学会第54回大会, 神戸大学, 1982年9月9日
10. 「先進国のアーバニゼーション」, シンポジウム「アーバニゼーションの国際比較」, 日本都市社会学会第1回大会, 兵庫教育大学, 1983年4月6日
11. 「アメリカの1920年代の社会学」シンポジウム「1920年代の社会学」, 日本社会学史学会1983年度大会, 金沢大学, 1983年10月30日
12. 「金子勇著『コミュニティの社会理論』をめぐるラウンド・テーブル」司会, 日本都市社会学会第2回大会, 明星大学, 1984年4月3日
13. 「戦後都市社会学の展開—アーバン・ソシオロジーとの関連で—」, 地域社会学会1984年度第3回例会, 中央大学会館, 1984年12月8日
14. 「都市と権力—社会的余剰の都市理論—」, 地域社会学会第10回大会, 中央大学, 1985年4月20日
15. 「都市と力—都市権力の比較社会学—」, 関東都市学会1985年度第1回例会, 東京市政調査会会館, 1985年5月18日
16. シンポジウム「東京圏の変貌と住民生活」コメンテーター, 関東社会学会第34回大会, 一橋大学, 1986年6月14日
17. 「転換する地域社会」, 地域社会学会1986年度第4回例会, 本郷会館, 1987年2月7日
18. 「都市と時間—度量衡の社会学—」, 三田社会学会第2回大会, 慶應義塾大学, 1987年7月11日
19. 「都市と暦—都市社会への時間論的アプローチ—」, 関東都市学会1987年度第4回例会, 慶應義塾大学, 1987年11月28日
20. シンポジウム「シカゴ学派再考」コメンテーター, 日本社会学史学会1983年度大会, 1988年6月26日
21. 自由発表の座長, 日本都市社会学会第6回大会, 駒場エミナース, 1988年7月15日
22. 基調報告「都市の概念と論理」, 中日城市問題国際討論会, 中国社会科学院(北京), 1988年10月17日
24. シンポジウム「鈴木栄太郎の都市理論」基調報告, 日本都市社会学会第7回大会, 旭川文化センター, 1989年6月30日
25. 「遷都の歴史社会学」, 関東都市学会1989年度大会, バルテノン多摩, 1989年9月14日
26. 自由報告の座長, 日本社会学会1989年度大会, 早稲田大学, 1989年9月14日
27. 「中国都市における伝統と社会主義」, 日本都市学会38回大会, 豊田産業文化センター(豊田市), 1991年11月28日

28. 自由発表の座長, 地域社会学会第18回大会, 成蹊大学, 1993年5月23日
29. シンポジウム「新しい都市理論」コメンテーター, 日本都市学会第11回大会, 関西大学, 1993年6月19日
30. 「転換期の地域社会学・中間考察—地域社会の『近代』はどこへ」, 地域社会学会1993年度第2回例会, 東京大学, 1993年10月9日
31. 「社会学研究における連続と断絶」, 三田社会学会, 慶應義塾大学, 1993年10月9日
32. 「現代都市学へのアプローチ」, 関東都市学会1994年度総会, 東京都庁丸の内庁舎, 1994年6月4日
33. 「社会理論の『鍵』としての権力論」, 関東社会学会1994年度大会, 武蔵大学, 1994年6月11日
34. 「権力のアクチュアリティ PART2」司会, 関東社会学会1994年度第1回例会, 東京大学, 1994年11月19日
35. 「都市と近代—災害と公権力—」, 近代都市史研究会, 京都学生会館, 1995年4月15日
36. 「書評会『都市の論理』中央公論社」, 日本史研究会, 京都機関紙会館, 1995年4月16日
37. 「部外者が書いた大学史」, 福澤研究センター, 慶應義塾大学, 1995年6月9日
38. 「相模原と日本」, シンポジウム「都市のアイデンティティとネットワーク—相模原市で考える—」, 関東都市学会1995年度大会, 相模原市産業文化会館, 1995年12月7日
39. 「P・A・ソローキンをめぐる二三の問題」, 三田社会学会1996年度大会, 慶應義塾大学, 1996年7月13日
40. 「P・A・ソローキン断章」, 日本社会学史学会1997年度第1回例会, 日本大学文理学部, 1997年2月8日
41. 「都市と土地—都市と共同性をめぐる比較社会学—」, 歴史と方法研究会第9回例会, 奈良女子大学, 1997年3月15日
42. 「奥井復太郎と都市社会学」, 地域社会学会第22回大会, 一橋大学, 1997年5月17日
43. 「ロシアのソローキンとアメリカのソローキン」, 日本社会学史学会1977年度大会, 秋田経済法科大学, 1997年6月28日
44. 「奥井復太郎における都市論の形成」, 日本都市学会第44回大会, 神戸市産業振興センター, 1997年11月8日
45. 「奥井復太郎と英・米・独の社会科学」, 日本社会学史学会1998年度大会, 道都大学, 1998年6月27日
46. 「モダニティとアーバニズム」, シンポジウム「モダニティの思想と都市・環境」, 日本社会学会1998年度大会, 関西学院大学, 1998年11月23日
47. 「都市の歴史社会学—都市と飢餓—」, 北京外国語大学日本学研究センター, 北京外国語大学, 1999年4月29日
48. 「マックス・ウェーバーの〈社会科学方法論〉」, 中国社会科学院社会学所, 中国社会科学院, 1999年5月25日
49. 「中国社会主义と都市=農村関係の展開」, 関東都市学会1999年度第1回例会, 早稲田大学文学部, 1999年9月18日
50. 自由発表部会の司会, 関東社会学会2000年度大会, 東洋大学, 2000年6月11日

51. 「首都圏外郭中心都市の可能性と課題」コーディネイター，関東都市学会2000年度大会，小田原市民会館，2000年12月2日
52. 「まちかどに見る『公』と『私』—看板の社会学」，シンポジウム「21世紀都市の風景を占う」，関東都市学会2000年度総会，早稲田大学，2001年5月26日
53. シンポジウム「地域における『公共性』の再編成」解題，地域社会学会大会，岩手県立大学，2001年5月12日
54. 「北東イングランドにおける日本人の文化適応(1)」，関東社会学会大会，法政大学，2002年5月10日
55. シンポジウム「地域における『公共性』の転換」解題，地域社会学会大会，東京大学，2002年5月19日
56. シンポジウム「国際テロリズムとコミュニケーション・メディア—9/11事件の検証を越えて—」問題提起，日本マス・コミュニケーション学会2002年度春季研究発表会，新潟大学，2002年7月6日
57. 自由報告の司会，日本都市学会大会，愛知県枇杷町文化会館，2002年10月25日
58. 「藤田弘夫『都市と文明の比較社会学—環境・リスク・公共性』（東京大学出版会，2003年）」，大阪歴史学会近代史部会3月書評会，大阪市西区区民センター，2003年3月19日
59. 「自治体の公共観」，地域社会学会大会，松山大学，2003年5月12日
60. シンポジウム「関東都市学会・日本都市学会の50年—過去・現在・未来」司会，関東都市学会2001年度春季大会，早稲田大学，2003年5月24日
61. 自由報告の司会，関東社会学会大会，大正大学，2003年6月14日
62. 「CivicsからUrban SociologyをへてUrban Studiesへ」，日本社会学史学会2003年度大会，東北公益大学，2003年6月28日
63. シンポジウム「都市学の新世紀」基調報告，日本都市学会第50回記念大会，大阪市立大学，2003年10月24日
64. 「国家像の変遷と町村合併」，地域社会学会例会，法政大学，2004年2月14日
65. 「戦後時代の設定は可能か」，戦後市民意識研究カンファレンス<6>，慶應義塾大学21世紀COE - CCC「多文化多世代交差世界の政治社会秩序形成」戦後市民意識研究サブユニット，慶應義塾大学，2004年4月27日
66. シンポジウム「大学と地域社会の連携」コーディネイター，日本都市学会第51回大会，千葉科学大学，2004年10月16日
67. シンポジウム「持続可能な都市再生」，関東都市学会2004年度春季大会，明星大学，2005年5月28日
68. 「日本における都市社会学の受容とシカゴイデオロギー」，日本社会学史学会2005年度大会，熊本学園大学，2005年7月25日
69. 「グローバリゼーションと社会理論」，中日学術研究会，南京大学，2005年7月2日
70. 「路上に見る『公共観』の比較社会学」，地域社会学会第31回大会，仏教大学，2006年5月13日
71. 「地方分権と中小都市」，シンポジウム「『美の条例』のつぎの展開」，関東都市学会2006年度秋季大会，神奈川県真鶴町真鶴町民センター，2006年12月2日

72. 「イギリスの古書の町：ヘイ・オン・ワイ」, シンポジウム「本の世界」, 三田藝文学会, 慶應義塾大学, 2006年12月8日
73. 「都市とは何かー社会理論から見た最古の都市」, 国立歴史民俗博物館縄文・弥生集落遺跡の集成的研究第2回研究会, 国立歴史民俗博物館, 2007年7月29日
74. 「東アジアの死刑」, 日本・スウェーデン国際合同シンポジウム, スウェーデン大使館ホール, 2008年3月28日
75. 「社会とは何かー飢餓と飽食の世界ー」, 日本ナイル・エチオピア学会, 弘前大学, 2008年4月19日
76. 「都市社会とリスク」, パネル・ディスカッション「『リスク社会』から現代を斬る」, 日本学術会議社会学委員会, 社会学系コンソーシアム, 日本学術会議講堂, 2008年6月7日
77. 「公共性の空間表象に関する比較社会学」(熊田俊郎(駿河台大学教授)と共同発表), 慶應義塾大学東アジア研究所2008年学術大会, 慶應義塾大学, 2008年6月19日
78. 「ブックタウン運動の意義ー英国と日本における古書店街の比較社会学的研究」, シンポジウム「古書流通から見た地域社会ー古書の町・ブックタウン運動を考える」, 三田社会学会2008年度大会, 慶應義塾大学, 2008年7月12日
79. 「三田社会学のこれまでとこれから: 三田社会学の150年」, 慶應義塾創立150年記念特別講演会「慶應義塾の社会学ー回顧と展望」, 三田社会学会2008年度大会, 慶應義塾大学, 2008年7月12日
80. 「都市生活から見た公共性の比較社会学ー辞書をもって街路へ」日本社会学理論学会第3回大会, 神戸大学, 2008年9月15日
81. 「公共性の空間表象に関する比較社会学」(田中重好(名古屋大学教授)・熊田俊郎(駿河台大学教授)と共同発表), 慶應義塾大学東アジア研究所2009年学術大会, 慶應義塾大学, 2009年6月27日

9. 講演

1. 「都市化とコミュニティ」, 葛飾区教育委員会, 亀有社会教育館, 1980年6月3日
2. 「コミュニティとわたしたち」, 葛飾区教育委員会, 亀有社会教育館, 1980年7月22日
3. 「都市と権力」, 横浜市民講座, 慶應義塾大学, 1984年9月29日
4. 「都市から見た農村」, 中央大学社会科学研究所, 現代都市の構造分析シリーズ, 1988年7月14日
5. 「都市コミュニティ」, 江東区教育委員会, 1988年11月24日
6. 「大学教育改革と一般教育の使命」, 上智大学一般教育委員会, 上智湘南ハイム, 1989年9月20-21日
7. 「女性と地域社会」, 藤沢市教育委員会, 長後市民センター, 1989年10月14日
8. 「地域社会の国際化」, 大和市教育委員会, 大和林間文化会館, 1990年5月29日
9. 横浜市民講座「遷都の歴史社会学」, 慶應義塾大学, 1990年12月8日
10. 「都市は、なぜ飢えないのか」, 関東学院大学人文科学研究所, 1992年11月20日
11. 横浜市民講座「都市と国家」, 慶應義塾大学, 1991年11月9日
12. 横浜市民講座, シンポジウム「激動する世界情勢」, 慶應義塾大学, 1991年12月14日
13. 総合研究開発機構(NIRA)「世界都市について」, 新宿三井ビル, 1991年12月14日
14. 「日本の都市・ヨーロッパの都市」, 駿河台大学, 1993年7月9日

15. 「東京はどんな『文化都市か』」, シンポジウム「東京はどんな都市?」, 東京都立大学都市研究センター, 1993年11月1日
16. にいがた市民講座「都市の21世紀に向けて」, 新潟市教育委員会, 新潟市万代市民会館, 1994年10月1日
17. にいがた市民講座「都市の新しいパラダイム」, 新潟市教育委員会, 新潟市万代市民会館, 1994年10月3日
18. 横浜市民講座「日本とヨーロッパの都市生活」, 慶應義塾大学, 1994年10月15日
19. 「世界都市論に向けて—文化・情報の発展基地」総合研究開発機構(NIRA), 恵比寿ガーデンプレイス, 1995年2月15日
20. JA全中(全国農業協同組合中央会)「仙台発、『未来の食料と環境』」, 21世紀の食料と環境を世界と地域から考える仙台フォーラム, 1995年7月20日
21. 東海地区合同通信三田会「都市化と国民国家」, 静岡三田クラブ, 静岡ホテル・ルシオ, 1995年10月21日
22. 東京都新宿区教育委員会「東京と日本—東京はどこまで日本的か・日本はどこまで東京的か」, 連続講演『東京論の正体』第6回, 1996年1月26日, 新宿区戸山社会教育会館
23. 静岡建設コンサルタント協会「都市と国家—21世紀の都市像を求めて—」, 静岡クーボール会館, 1996年3月8日
24. 相模原市役所企画部「相模原市の目指すべき都市像を考える」, 相模原市役所, 1996年3月22日
25. JA全中・農業再編対策室「新たな基本法制定に関する農村政策の考え方について」, 大手町JAビル会議室
26. 全国市長会第58回全国都市問題会議「都市と交流—分権時代における連携・協力の方向—」パネリスト, 浜松市, アクトシティ浜松, 1996年10月10日
27. 城西国際大学国際文化教育センター・清水建設「近代都市とその伝統文化」, 1996年10月23日
28. 群馬慶友会・東京三田クラス「国民国家の形成と都市化」, 伊香保温泉・凌雲荘, 1996年10月26日
29. 群馬慶友会・東京三田クラス「日本の都市とヨーロッパの都市」, 伊香保温泉・観山荘, 1996年10月27日
30. 神奈川通信三田会「日本都市の計画と無計画」, 横浜ランドマークタワー・フォーラムよこはま, 1996年11月9日
31. 国士館大学政経学会「都市問題を考える—豊かな国の貧しき住宅—」, 国士館大学, 1996年11月14日
32. 大和市企画政策課「環境条例の作成をめぐる」大和市環境政策のあり方フォーラム, 大和市グリーンアップセンター, 1997年10月16日
33. 関東学院大学人文科学研究科講座「都市と町並み—都市と土地の比較社会学—」, 関東学院大学, 1997年11月21日
34. 鹿児島経済大学「日本都市の類似性と町並みの混乱—都市計画の比較社会学」, 1997年12月5日
35. 大和市「都市文明と環境」, 「やまとの環境を考えるシンポジウム—環境基本計画の策定に向けて—」, 大和市保健福祉センター, 1998年6月21日

36. 「都市の誕生」奈良女子大学学術情報センター, 古代学フォーラム, 奈良女子大学, 1998年10月10日
37. 「権力・都市・近代」, 慶應義塾大学文学部通信教育社会学セミナー, 慶應義塾大学, 1998年10月17日
38. 「さまざまな官と民」, 静岡日本平ライオンズクラブ, 2002年3月26日
39. 「街角で感じる公と私—新しい公共性をもとめて」, 第37回公共哲学研究会, 京都フォーラム, 京都リーガロ・ホテル, 2002年6月21日
40. 「まちづくりと新しい公私観」, 山梨学院大学生涯教育センター, 2004年11月24日
41. 「グローバル化と都市問題」, 社民党前議員会, 社会文化会館, 2005年11月9日
42. 港区区民講座「路上に見る「公-私関係」の比較社会学」, 慶應義塾大学, 2006年5月27日
43. 「都市と文明—環境・リスク・公共性—」, 法務省司法研修所, 専門研究会, 2006年10月6日
44. テレビ放送 番組名「視点・論点」 「路上から読む国柄」
放送 (教育テレビ) 2007年1月24日 (水) 午後10時50分~11時00分
再放送 (総合テレビ) 2007年1月25日 (木) 午前4時20分~4時30分
45. ラジオ・ジャパン 2007年2月5日 6時30分より放送 internet NHK
46. 多摩コミュニティ・カレッジ「転換する公共性とまちづくり: 公と私の比較社会学」, 2007年4月14日
47. 「路上に見る『公-私』関係」(1), 日本大学文理学部, 2007年6月14日
48. 「路上に見る『公-私』関係」(2), 日本大学文理学部, 2007年6月21日
49. 「街づくりと観光化」, 淑徳大学, 2007年7月3日
50. 「都市における公共観の比較社会学」, 慶應義塾大学通信教育社会学セミナー, 慶應義塾大学, 2008年6月21日
51. テレビ放送 番組名「視点・論点」 「町を古書で考える」
放送 (教育テレビ) 2008年10月27日 (月) 午後10時50分~11時00分
再放送 (総合テレビ) 2008年10月28日 (木) 午前4時20分~4時30分
52. ラジオ・ジャパン 2008年11月5日 6時:30分より放送 internet NHK

10. 役職

a) 学会関係

* 地域社会学会 学会運営委員

1984年5月より 1988年4月23日まで (1986年4月重任)

* 日本社会学会 社会学教育委員

1985年10月より 1991年10月まで (1988年10月重任)

* 日本社会学会 監事 1986年6月7日より 1988年6月26日まで

* 地域社会学会 事務局責任委員・年報編集委員

1988年4月24日より 1989年5月14日まで

* 関東都市学会 常任理事 1988年11月5日より

* 関東社会学会 年報編集委員

1989年5月14日より 1992年6月まで (1991年5月重任)

- * 地域社会学会 学会運営委員・年報編集委員

1990年5月19日より 1992年5月まで

- * 日本社会学史学会 理事 1990年6月16日より 1992年6月まで
- * 地域社会学会 会則変更委員 1993年7月10日より 1994年5月まで
- * 関東社会学会 研究活動委員・年報編集委員

1993年10月1日より 1994年5月まで

- * 地域社会学会 理事 1994年5月22日より 1998年5月まで
- * 地域社会学会 年報編集委員 1994年7月18日より 1996年5月まで
- * 地域社会学会 年報編集委員長 1994年5月より 1996年5月まで
- * 関東社会学会 常任理事・年報編集委員長

1995年6月より 1997年6月まで

- * 日本都市学会 理事 1997年5月より 2000年6月まで (1999年重任)
- * 日本社会学会 研究活動委員 1997年10月より 2000年10月まで
- * 関東都市学会 常任理事 1999年6月より 2001年6月まで
- * 地域社会学会 理事 研究活動委員長

2000年5月13日より 2004年5月16日まで (2002年5月14日重任)

- * 関東都市学会 研究活動委員長 2000年5月30日より 2002年5月30日まで
- * 日本都市学会 常任理事 2001年6月より 2003年6月まで
- * 三田社会学会 会長 2002年3月より 2005年5月まで
- * 関東都市学会 会長 2003年5月より 2007年5月まで (2005年5月重任)
- * 日本都市学会 理事 2003年6月より (2005年6月重任)
- * 地域社会学会 会長 2006年5月14日より 2008年5月10日まで
- * 日本社会学理論学会 理事 2006年9月12日より (2008年9月14日重任)
- * 社会学コンソーシアム 準備委員 2007年5月より 2009年7月まで
- * 関東都市学会 理事 2007年5月より (2009年重任)
- * 地域社会学会 理事 2008年5月10日より
- * 地域社会学会 学会賞選考委員会委員 2008年5月より
- * 社会学コンソーシアム 理事 2009年7月より

b) 社会活動

- * 埼玉県大井町 町史編纂協力委員 1982年7月より 1988年3月まで
- * 神奈川県大和市 まちづくり政策審議委員 1989年6月より 1990年5月まで
- * 神奈川県大和市 工業政策懇話会委員 1991年10月より 1992年3月まで
- * 総合研究開発機構 (NIRA) 世界都市研究会委員 第二期

1994年12月より 1995年3月まで

- * 神奈川県大和市環境のあり方懇話会 副委員長 1997年2月より 1998年1月まで
- * 神奈川県大和市建築紛争調停委員 1997年4月より

1999年, 2001年, 2003年, 2005年, 2007年, 2009年重任

* 神奈川県大和市環境問題懇話会委員 1998年1月より 2000年1月まで

* 東京都港区 これからの港区の教育を考える委員会委員長

2001年5月31日より 2003年3月31日まで

* dNPO 文明と社会リサーチコンプレックス代表

2004年7月28日より 2007年6月28日まで

* 文部科学省 COE 第一次審査委員 2004年

* 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員

2006年1月12日より12月31日まで

* 東京都港区 地域交通のあり方委員会副委員長 2006年9月より 2007年3月まで

* 独立行政法人 日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員

2007年1月12日より12月31日まで

* 日本私立学校振興・共済事業団 私立大学等経常費特別補助金補助審査専門委員

2008年4月1日より

* 文部科学省科学研究費補助金 新学術領域研究(研究課題提案型) レフェリー審査員

2008年6月1日

* 独立行政法人日本学術振興会

特別研究員等審査会および国際事業委員会書面審査委員

2009年8月1日より 2009年10月まで

c) 塾内役職

* 医学部学生部委員 1983年4月より 1988年10月まで

* 福澤研究センター研究員 1983年4月より 2009年10月まで

* 日吉社会科学部門主査 1985年10月より 1987年9月まで

* 横浜市民講座運営委員 慶應義塾大学 1987年10月より 1989年9月まで

* 日吉研究室運営委員 1993年10月より 1994年3月まで

* 医学部 組換えDNA実験安全委員会委員

1993年6月より 2004年2月まで(1995年, 1997年, 1999年重任)

* 日吉メディア・センター協議会委員 1993年10月より 1995年9月まで

* 医学部入試副事務長 1994年度

* 医学部入試事務長 1995年度

* 大学院社会学研究科奨学委員 1995年4月より 1997年3月まで

* 大学教育委員会委員委員(社会学研究科) 1995年4月より 1999年3月まで

* 横浜市民講座運営委員 慶應義塾大学 1995年10月より 1997年9月まで

* 医学部学生部副部長 1995年10月より 1997年9月まで

* 日吉社会科学部門主査 1995年10月より 1997年9月まで

* 大学教育委員会委員(大学院社会学研究科) 1995年10月より 1999年4月まで

* 医学部カリキュラム委員 1998年6月から 1999年4月まで

- * 社会学研究科研究紀要編集主任 1998年4月から 1999年4月まで
- * 医学部入試事務長 1999年度
- * 大学教育委員会委員（社会学研究科） 1999年10月より 2000年9月まで
- * 文学部運営委員 2002年4月より 2003年3月31日まで
- * 自己点検・評価委員 2003年4月より（2005年4月重任）
- * 文学部人事委員 2003年4月1日より 2004年3月31日まで
- * 大学院社会学研究科学習指導 2004年10月1日より 2007年4月1日まで